

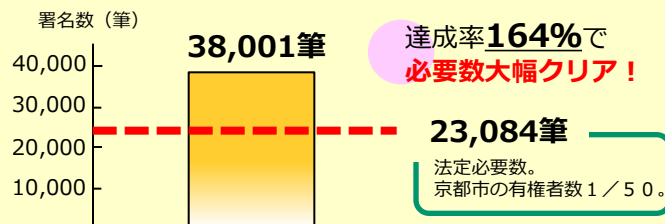
江村りさ (28歳)



いよいよ動き出しました！ 議員定数の議論が本格化。

かつて多くのご署名を頂戴した京都市の議員定数削減における直接請求。必要法定数を大幅に上回り、臨時議会開催に至ったものの、当時の議会は結論を避けました。しかし、この直接請求のおかげで、現在京都市の市会改革委員会では議員定数に大きく焦点を当てた議論が活発化しております。「市民の声は議会に届く」、という想いを胸に京都党を代表して市会改革委員会に挑んでおります！

◀ 直接請求の結果 ▶



全体のうち、
5,253筆(約14%)
のご署名を
右京区にお住まいの皆様
より頂戴しました。

私はこれらの軸をもって京都市政に取り組んでおります。

01 市の財政再建

京都市の将来負担は莫大なものです。今後30年、40年先を見据える世代として、将来の子供たちに負担を残さないための財政運営を軸とします。

02 めりはりのある都市

京都には古都の歴史や大学の街など際立った特徴がありますが、現状維持に偏っているため、めりはりのある儲かる仕組みづくりを進めます。

03 住みやすさの追求

行政は暮らしのすべてを守ることはできません。しかし、市民の財産といのちを守る観点を大切にします。

代表質問にて問題提起&提案

累積赤字拡大の京都市財政



「国から地方への押し付け」と
「地方の国依存」は限界

図-1 累積市債残高(億円)

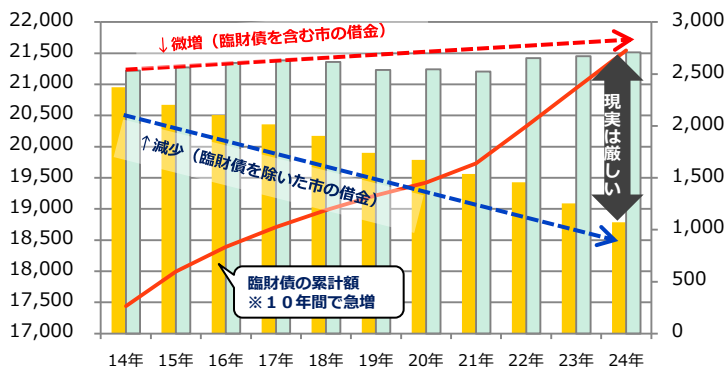
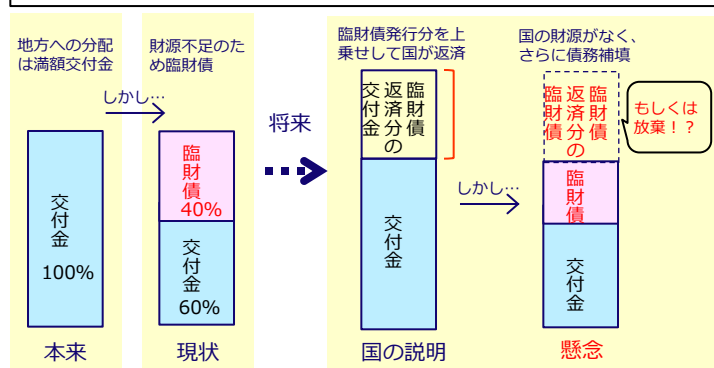


図-2 地方交付税と臨財債について



臨時財政対策債(臨財債)とは

「臨時財政対策債」とは、地方一般財源の不足を補うために「特例」として発行される「赤字地方債」で、臨時措置として導入されました。これにより、地方交付税の不足分は従来国が国債を発行して補填してきましたが、平成13年度から地方自治体が地方債を発行することとなります。

また、地方自治体が発行した地方債の償還費用は全額国が負担するものです。

の2兆1,514億円にまで借金が積みあがっています(図-1)。

前述したように、一見臨財債は国がいずれ負担してくれるため問題がないように思えます。しかし、「地域主権」という名のもとに国から地方への財源移譲を進めつつ、自治体には一層の財政規律を求めています。国の交付税財源も不足しており、将来まで国が支えてくれる保証はありません。このままでは将来に重い「ツケ」を残すことが予想されます(図-2)。

京都市の交付税依存度は依然として高く、一方で国は保証するとしながらも飽くまで“自治体の判断と責任”で臨財債を発行させています。見えにくい借金にすぎりながらの財政運営では本当に自治体だけでなく日本の将来は深刻です。いづれにせよ、**早く対策を打たなければ将来京都市は例外のない財政緊縮を迫られる危険性**があります。

社会福祉費の増加や公共物の老朽化対策、災害対応など今後ますます財源が必要となります。

将来、臨財債の問題が手を付けられなくなる前に地方の的確な舵取りと発信が大切です！

京都市への提案

- 臨財債に極力依存しない
- 国へ臨財債は使わないよう要求
- 住民への適切な説明(監視強化)




これらの地域活動・議会活動に取り組みました！（一部抜粋）

議会活動

基本は財政再建に重点。投資的経費には前向き。「今だけ良ければ」ではない、将来的目線でチェック。


- ・土地開発公社の負債178億円の早期解決を示唆
- ・公債償還基金の取り崩しに待った！
- ・損失額26億円以上！小学校の移転事業
- ・五山送り火の世界遺産登録を提案
- ・観光におけるMICE戦略の推進
- ・生活保護の不正受給根絶に向けた提案 など



地域活動

市政に関わる暮らしのご相談・ご要望の対応。行事参加等で地域の声をお聞きしています。

- ・台風18号に係る浸水、土砂、風評被害対策
- ・災害対応における住民説明
- ・いじめ相談
- ・土木関連の陳情対応
- ・その他あらゆる市政相談



01 船岡山公園の賃料UPを指摘！その後の価格交渉で改善へ

北区にある船岡山公園の賃料が近年急激に高騰していたことについて、以前より市議会で追及をしておりました（以前7号にて掲載）。今回改善の動きがあったためご報告します。

【賃貸借地契約の締結状況】

昭和58年	年額1,882万円
⋮	
平成22年	年額7,989万円

近年になり突如高騰で賃料4倍！

そもそも船岡山は、大徳寺と建勲神社が持ち主ですが、京都市は大徳寺の持ち分を借り受けて公園にしています。補足ですが、船岡山公園の利用者数は散歩の

方も含めひと月5,000名程度。賃料は約660万円/月のため、一回の利用でなんと**一人あたり1,320円**程度の計算になります。

平成22年から、何故これほど賃料が上がったのか。土地の評価額によるとはいえ、これほどの高騰は納得し難いものがあります。そして今後、公園を維持する必要性がどこまであるのか、議論をしなければなりません。公平公正の観点からも、財政難の昨今において、維持費と利用者数の不均衡を考慮したうえでも適正な管理をいただきたいと指摘をしておりました。

この部分の指摘に対し、京都市側は「今後は多少なりとも賃料が下がるよう努力したい」と回答しておりましたが、今回、正式に賃料の適正化に

向けて動きが見られました。

議会で指摘後の平成23年に早速平成24年度に値下げに向け価格交渉がなされ、平成25年度は**1,570万円減の6,372万円**となりました。約20%の減少です。そして今年度もさらに値下げが進む見込みです。

平成24年	年額7,942万円
平成25年	年額6,372万円

約20% down

02 市職員の不祥事根絶へ 技能労務職員の新規採用凍結！

議員になって以降、度々指摘を続けてきた技能労務職員の問題（民間との給与比較は図-1参照）。今年に入り職員の不祥事が相次いで発生し、再び増加しております。本来、公共サービスを提供する立場として、不祥事や逮捕者はゼロが当たり前であり、看過できない事態です。

この不祥事の問題において我々京都党は、不祥事の横行した現業職に対し、「信頼回復と再生のための抜本改革大綱」を守るように指摘し、新規採用の中止を提言し続けて参りました。

しかし京都市は「改革大綱の事項はすでに満たしている」として現状課題への指摘に取り合わず、新規採用に踏み切りませんでした。（昨年度

公務員・民間の平均年収比較 図-1
 公務員：まち美化業務員（京都市）
 民間：廃棄物処理業従業員

民間	公務員（京都市）
44.3歳	40代
399万円 ※1	703万円 ※2

※1 京都市環境政策局、平成22年度の実績より
 ※2 厚生労働省「平成22年賃金構造基本統計調査」より

しかし今年度に入り再び現業職を含め職員の不祥事が相次いだため、改めて代表質問の場で、技能労務職の新規雇用を廃止すること、技能労務職の課題に対し根本解決を求めました。この議論は1ヶ月以上に及ぶ議会中、度々取り上げ

られ、ついに議会終盤で技能労務職の新規採用を中止するという回答を行政から得ました。

大阪市でも、技能労務職の民間との所得格差是正に向け改革に乗り出すなど、現在、全国各地でも解決に向け動きがみられるこの課題。京都市は、長い歴史的背景から特に根の深い問題ではありますが、より公平で透明性のある自治体運営を実現するためにも、引き続きより納得感のある運営を目指し取り組んで参ります。

技能労務職員の新規採用に待った！

新規採用 中止へ

京都党とは

地域政党「京都党」とは、平成22年8月に前市会議員、企業経営者、元副市長、大学教授らとともに結党。現職市議は4名。地方主権で財源と権限の移譲が進む中、京都市の特色を活かすと共に、地域課題に根ざした政策立案により、京都市政の新しい街づくりを目指す政党。



最高顧問 堀場雅夫 (株式会社堀場製作所最高顧問)

顧問 渡邊隆夫 (京都中小企業中央会会長)

政策顧問 高木壽一 (元京都市副市長)

村田晃嗣 (同志社大学学長)

溝部英章 (京都産業大学法学部教授)

風間規男 (同志社大学政策学部教授)

小川顕彰 (弁護士)

茂山逸平 (大藏流狂言師)

及川敦 (地域政党いわて幹事長・岩手県議)

代表 村山祥栄 (京都市会議員)



「明日の古都会」のご案内


江村りさの活動を支援していただくための「江村りさ明日の古都会」の会員を随時募っております。

お申込みは、お電話かFAXにてご連絡いただくほか、ホームページのお申込みフォームよりお手続きも可能です。多数の皆様からのご入会を心よりお待ちしております。

ご入会の特典	年会費
1 広報誌(年4回)の送付	3,000円
2 市政報告会・イベントのご案内	
3 会員証発行	

振込先：京都市役所前支店 (店番127)
 口座番号：(普) 3683895
 口座名義：古都会 (コトカイ)

お願いします！



江村りさの相談窓口受付中！



市政について、また地域課題など、疑問やお困りごとがございましたらお寄せください。もちろんご意見やご要望もお待ちしております。

※公共サービスにおける個別の斡旋等はご対応致しかねますので何卒ご了承ください。

プロフィール

嵐山小、嵯峨中、北嵯峨高校 卒業。

- ・昭和60年10月生まれ。現在28歳
- ・嵯峨野保育所
- ・嵐山小学校 (H9年度卒)
- ・嵯峨中学校 (H12年度卒)
- ・北嵯峨高校 (H15年度卒・27期生)
- ・同志社大学政策学部卒業
- ★在学中、市会議員学生秘書
- ・株式会社ミスミ (東証一部) 勤務
- ・平成23年、7,863票を賜り25歳で初当選
- ・京都党 総務会長/京都党議員団 団長

堀場最高顧問と結党記者会見にて 学生スタッフと事務所にて